

「英語 de Cooking」英語科&家庭科のコラボ

生活文化コースの3年生が「英語 de Cooking」にチャレンジしました！事前の英語の授業で、食材や料理方法など必要な英語をしっかりと勉強した上で、本番に臨みました。レシピはすべて英語で記入され、料理名も極秘でスタートしましたが、どのチームも協力しながら、楽しく進めていました。また、わからないところは only English で質問していました。果たして成功したかな???

《答え》



《生徒の作品集》



☆生徒の感想☆

☆最初にレシピを見た時、絶対無理だと思ったけれど、グループのみんなと協力して作り上げることができてすごく嬉しかったし、楽しかったです。

☆自分で思っていたよりも英語ができた。知ることができた。次もしやるのならば、細かいところまで読めるようにしたい。

☆進学先で英文のレシピを読むこともあると思うから、高校生の内に体験できて良かった。

☆来年も2年生でやったり、生活文化の伝統にしていってほしいです。Sheperd's pie が美味しかったので今度家でも作ろうと思います。

☆英語が読めなくて時間がかかったけれど、とても面白かった。卒業する前にもう一度やりたいです。

☆身体を動かしながらの英語は楽しかったです。

☆普段の調理実習では、日本語で書かれたレシピで作っているのですが、英語では文の最後まで見ないと分からないこともあったので、文の意味をしっかりと確認することが大切だと気づきました。外国の料理の楽しさを知ることができたので、私も作りたいと思いました。

☆授業である程度の単語を覚えたので作りやすかった。材料とか調味料、器具の名前も覚えたので、その辺はあまり困らなかった。

☆最初はできているか不安だったけれど、英語のレシピを見て読めるところがあって、分かって嬉しかった。英語と日本語だと言い方が違って面白かった。

☆自分のボキャブラリーの無さを痛感した。あんなに頭の中で英単語を唱えたことがなかったが、刺激になった。

